

循環型都市 横浜を世界に発信！

世界の都市リーダーが注目する専門誌で、横浜の循環型都市への取組が特集されました

シンガポール政府機関 CLC(*1)が発行する専門誌『Urban Solutions』は、世界の都市リーダーが注目する都市づくり・都市経営の最新知見を紹介する年 2 回刊行の国際誌です。これまで、ニューヨーク、バルセロナなど、都市政策を牽引する先進都市の事例が取り上げられてきました。

この度発行された最新号(27号)では、横浜市の循環型都市への取組が特集され、山中竹春横浜市長のインタビューが掲載されました。

同誌は、現在ブラジル・ベレンで開催中の『COP30』会場内に設置されたシンガポール・パビリオンにて、11日、CLCのヒュー・リム センター長(*2)から世界に向けて正式発表されました。

なお、同誌ではこれまで、循環型都市の取組として、シンガポールやアムステルダムなどの事例が紹介されています。今回、横浜市がこのテーマにおいて、日本の都市として初めて取り上げられました。

■横浜市特集の概要

【掲載ページ数】8 ページ

【インタビュー項目】

- ・気候変動に対応する、脱炭素化・循環型都市の実現に向けた取組
 - ・国際会議、国際協力を通じた国際社会への貢献
 - ・GREEN×EXPO 2027 など、今後の展望
- (日本語訳を後日横浜市 web ページに掲載予定)



上：横浜市特集記事誌面抜粋

下：Urban Solutions issue 27 表紙

■Urban Solutions の概要

【読者数】約 45,000 人

【雑誌詳細】 毎号約 90～110 ページ程度のコンテンツ

【最新号】 Urban Solutions issue 27 テーマ「レジリエンスと再生」

【データ掲載先】CLC ウェブサイト(言語:英語)

<https://knowledgehub.clc.gov.sg/publications-library/issue-27-resilience-and-regeneration-ii/>

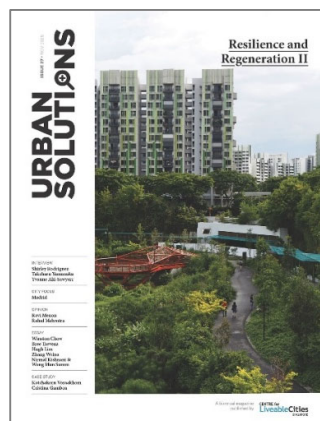


*1 CLC:暮らしやすい都市センター:Centre for Liveable Cities (CLC)

シンガポール国家開発省等が 2008 年に設立した都市開発に関する研究・教育機関で、研究、能力開発、知識プラットフォーム、アドバイザリーの4領域を中心に活動。都市政策の経験を集約した冊子やレポートの刊行、定期的な講演会や研修の実施等をしている。リー・クワン・ユー世界都市賞の選定、世界都市サミットの主催者として、都市政策分野で国際的な影響力を持っている。

*2 CLC ヒュー・リム センター長

シンガポール政府で法務省副次官、建築・建設庁長官等を歴任後 2020 年より現職。
11 月 25 日～27 日に開催される「アジア・スマートシティ会議」のため来浜、登壇予定。



お問合せ先

国際局政策総務課アジア大洋州担当課長 丸山 晶子 Tel 045-671-4711



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

